

E:医療福祉従事者のスキルアップ

「介護の基本」からさらにステップアップした内容です。経験のある方やさらに知識を得たい方向けのテーマです。

NO	テーマ	講師	定員・月日
E1	介護現場でのアセスメントと個別援助(支援)計画 ケアプランに沿ってサービス提供を行うために、自立支援の考え方を踏まえたアセスメントが必要です。それを基に様々なニーズに合わせた個別性・多様性のある援助計画につなげることが求められます。ADLの自立度だけでなく、生活観や社会との関係性も含めたアセスメントと援助計画を考えます。	仙台大学 体育学部 健康福祉学科 准教授 介護福祉士 後藤 満枝 氏	定員:50名 令和5年 10月31日(火) 13時~16時
E2	介護者に必要な医療的ケアの知識 胃ろう、経管栄養、吸引、酸素療法、人工呼吸器、膀胱留置カテーテル(フォーレ)など、医療的ケアが必要な方々が増えています。現場で出会う医療的ケアがどのようなものかを知り、介護を行う際の配慮点などを学びます。	青葉訪問看護ステーション 所長 看護師 前田 香苗 氏	定員:50名 令和5年 9月7日(木) 13時~16時
E3	多職種によるチームケアの実践 チームケアの推進にはそれぞれの専門職の専門性の向上とチームアプローチが両輪となります。同職種チームとしてのマネジメントも必要です。さらに多職種それぞれの役割を理解し情報共有を図る連携の必要性や、共有した支援の方向性を実践する協働のあり方を考えます。	障害者支援施設 若草園 施設長 宇田川 佳浩 氏	定員:50名 令和5年 9月20日(水) 13時30分~15時30分

介護講座 日程一覧

月日	テーマ	No	月日	テーマ	No
5/25 (木)	車椅子の使い方と移乗方法	B2	9/20 (水)	多職種によるチームケアの実践	E3
6/6 (火)	感染予防と対策	D1	9/29 (金)	摂食・嚥下障害と食事介助	B6
6/13 (火)	介護保険の制度	A1	10/3 (火)	障害福祉の制度	A2
6/27 (火)	介助の基本	B1	10/19 (木)	フレイル予防の栄養学と食形態の工夫	C4
7/4 (火)	認知症の医学知識	C1	10/31 (火)	介護現場でのアセスメントと個別援助(支援)計画	E1
7/10 (月)	加齢に伴う運動機能の低下・変化	C3	11/6 (月)	発達障害の理解と支援	C5
7/20 (木)	口腔ケアの必要性和ポイント	B5	11/14 (火)	入浴の介助	B3
7/25 (火)	支援記録の目的とポイント	D4	11/28 (火)	認知症の理解と支援の基礎	C2
8/1 (火)	日常の健康管理	A4	11/30 (木)	拘縮予防の必要性和ポジショニング	B7
8/25 (金)	支援現場での危険予知	D3	12/19 (火)	自立に向けた排せつ支援と用具の選定	B4
9/7 (木)	介護者に必要な医療的ケアの知識	E2	1/16 (火)	皮膚の管理と褥瘡予防	A3
9/14 (木)	虐待防止・権利擁護	D2			

- ※ 申込は各月毎、概ね2ヶ月前にホームページに掲載いたします。
Google フォームまたは、「介護講座申込書」をダウンロードし FAX にてお申し込みください。
- ※ 先着順になりますので、お早めにお申し込みください。
定員を超える申込みの際には、申込みを締め切らせていただきます。
- ※ 日程や開催時間等が変更になる場合がありますので、ホームページにてご確認ください。

宮城県介護研修センター

〒989-4103 大崎市鹿島台平渡字上敷19-7
TEL:0229-56-9608 FAX:0229-56-9763
ホームページ: <https://fukushi.miyagi-sfk.net/kkc/>

宮城県介護研修センター 令和5年度

介護講座のご案内

宮城県介護研修センターでは県民の方や医療福祉従事者の方々を対象に、介護講座を開催しています。

介護・福祉には有資格者から介護未経験の方まで様々な方が携われています。また、介護知識・技術は高齢者ケアだけでなく、障害児者の方にもケアとして共通する部分が多くあります。今年度の介護講座は、基本的な介護の知識・技術の学習を通して、県民から医療福祉従事者までより多くの方に「介護を知る機会」を提供すること、「介護の基本的な知識・技術」に触れていただくことを目的にテーマを再編しました。

経験が少なく実践での不安をお持ちの方の知識・技術の積み上げや、事業所内で行いきれない人材育成、新人教育の機会としてもぜひご活用ください。

また、基礎的な内容だけでなく、スキルアップを目的とした講座もありますので、経験をお持ちの方々もご参加ください。

介護講座テーマ(全23回)

A:介護の基礎

講義を通して医療・福祉に関する基礎的な知識を学び、理解を深めます。

No	テーマ	講師	定員・月日
A1	介護保険の制度 制度全体の概要を理解しておくことは介護の基礎知識とのひとつであり、地域とのつながりや多職種協働の土台となります。介護保険制度全体の仕組みや最近の動向、またケアプランの目的・役割などを学びます。	有限会社 福寿 ご長寿くらぶ小牛田・ 福寿の家きたうら 管理者 理学療法士 尾形 文克氏	定員:50名 令和5年 6月13日(火) 13時~14時30分
A2	障害福祉の制度 障害福祉サービスも制度全体の概要を理解することは基本的な知識として必要です。また利用手続きなど介護保険と異なる部分もあります。制度の位置づけや個別支援計画の果たす役割などを学びます。	宮城・仙台障害者相談支援 従事者協会 代表理事 相談支援専門員 福地 慎治 氏	定員:50名 令和5年 10月3日(火) 13時~15時
A3	皮膚の管理と褥瘡予防 皮膚のトラブルは褥瘡だけではなく。加齢による乾燥や伸縮性の低下が生じるため、裂傷や皮膚炎のリスクも高まります。スキンケアの重要性を知り、褥瘡予防の実践について学びます。	栗原訪問看護ステーション 皮膚・排泄ケア特定認定看護師 大内 淑子 氏	定員:50名 令和6年 1月16日(火) 13時30分~16時
A4	日常の健康管理 毎日のケアの中で「いつもと違う」という「気づき」はとても重要です。日々のアセスメントや入浴・食事などの生活での観察ポイント、バイタルサインの意味、主な疾患ごとの配慮点などをお伝えします。	社会福祉法人 仙台市社会事業協会 高齢者総合福祉施設 仙台楽生園ユニットケア施設群 総括主任看護師 小関 ゆみ氏	定員:50名 令和5年 8月1日(火) 13時~16時

B:介護の技術

食事・入浴・排泄・乗り移り等の基本的な介護方法について、実技を交えながら学びます。

No	テーマ	講師	定員・月日
B1	介助の基本 寝返り、起き上がり、立ち上がりなどの基本動作の介助方法について学びます。ご本人の動きに合わせた介助のポイントや、介助者自身の負担を軽減するような方法を知り実践につなげましょう。	宮城県社会福祉協議会 特別養護老人ホーム 和風園 介護福祉士 富木 和也 氏	定員:30名 令和5年 6月27日(火) 13時30分~15時30分
B2	車椅子の使い方と移乗方法 車椅子の種類や構造の特徴と基本的な介助のポイントをお伝えします。後半は移乗機器(リフトなど)を実際に使って安全な移乗(乗り移り)方法を体験します。	宮城県介護研修センター 理学療法士 廣島 志保 作業療法士 大場 薫	定員:20名 令和5年 5月25日(木) 13時30分~16時
B3	入浴の介助 入浴は体の清潔を保つだけでなく、心理的にリラックスできる時間ともなります。また全身状態を把握する機会ともなりますが、肌の露出や滑りやすいなどのリスクもあります。訪問入浴や浴室での入浴介助の際のアセスメント、ケアのポイントや流れを学びます。	アサヒサンクリーン(株) 東北支店 訪問入浴・通所介護 教育指導課長 遠藤 清美 氏	定員:30名 令和5年 11月14日(火) 13時~15時
B4	自立に向けた排せつ支援と用具の選定 排泄ケアは動作の介助、おむつ交換だけではなく、尿意・便意の評価だけではなく、量や頻度(パターン)のアセスメント方法を学びながら、個々に合わせた負担の少ないケアの実践に触れてみませんか。	株式会社クララケア・サポート 代表取締役 館 亜美 氏	定員:30名 令和5年 12月19日(火) 13時~16時
B5	口腔ケアの必要性和ポイント 食べる前の準備運動も含めた適切な口腔ケアは、食生活の改善だけでなく、誤嚥性肺炎の予防にも非常に重要です。嚥下運動と口腔等の機能を知り、実際の口腔ケアの方法を学びましょう。	みちのく歯科診療所 院長 川村 洋 氏	定員:30名 令和5年 7月20日(木) 13時~16時
B6	摂食・嚥下障害と食事介助 年齢や障害の影響で口腔機能が低下することがあります。適切な食事支援を行えるように摂食・嚥下障害を理解することは大切です。評価やその方に応じた食形態・姿勢・食器・介助方法などの実践やその取り組みの意味を学びます。	医療法人永仁会 永仁会病院 言語聴覚士 村中 輝弥 氏	定員:30名 令和5年 9月29日(金) 13時~16時
B7	拘縮予防の必要性和ポジション 拘縮が起こると行為や姿勢が制限を受けるだけでなく、関節が動かないことで骨折や褥瘡のリスクも高まります。拘縮には重力が大きく影響しています。臥位だけでなく、座位での姿勢で重力の影響も考えながら適切なポジションについて学びます。	東北福祉大学 健康科学部 リハビリテーション学科 講師 作業療法士 浮田 徳樹 氏	定員:30名 令和5年 11月30日(木) 13時~16時

C:障害の理解

障害者や高齢者に関係する疾患や障害の特徴などの理解を深め、その支援について学びます。

No	テーマ	講師	定員・月日
C1	認知症の医学知識 認知症の早期診断と治療によって、生活機能の維持・BPSDのコントロール・介護負担の軽減が可能になることから、正しい医学知識と、よく服用されている薬の効用と副作用についても学びます。	医療法人朋心会 旭山病院 副理事長 医師 近藤 等 氏	定員:50名 令和5年 7月4日(火) 10時~11時30分

No	テーマ	講師	定員・月日
C2	認知症の理解と支援の基礎 認知症の症状には、脳の障害が原因で起こる記憶障害などの「中核症状」とその周辺にある徘徊、妄想などの「行動・心理症状(BPSD)」、また認知症のタイプによって特徴的な症状があります。認知症の症状を理解し支援の方法を学びます。	株式会社 悠久会 代表取締役 熊谷 光二 氏	定員:50名 令和5年 11月28日(火) 13時30分~15時30分
C3	加齢に伴う運動機能の低下・変化 加齢に伴って運動機能が低下することはよく知られています。「知的障害者は一般の高齢者に比べて機能低下が早い」との指摘もあります。加齢に伴う運動機能低下を知り、それがどのように生活のしづらさに影響するのか、実際に疑似体験を行い感じてみましょう。	東北文化学園大学 医療福祉学部 リハビリテーション学科 理学療法士 桂 理江子氏	定員:30名 令和5年 7月10日(月) 9時30分~12時30分
C4	フレイル予防の栄養学と食形態の工夫 高齢者の低栄養がフレイル(虚弱な状態)や筋肉量の低下につながり、要介護の原因になることが注目されています。高齢者に適した栄養のバランスや、咀嚼・嚥下機能が低下したときの食事が食べやすくなるような調理の工夫などについて学びます。	東北生活文化大学 家政学部 家政学科 講師 管理栄養士 高橋 文 氏	定員:50名 令和5年 10月19日(木) 13時~16時
C5	発達障害の理解と支援 自閉症スペクトラムなどの発達障害での特性と現れる反応はタイプごとに整理されています。また障害の背景には感覚(五感や触覚・平衡感覚・固有感覚など)のアンバランス関係していることもあるため、行動・反応とその背景にある感覚特性について学びます。	宮城県立こども病院 リハビリテーション・発達支援部 作業療法士 関原 真美 氏	定員:50名 令和5年 11月6日(月) 14時~16時

D:介護現場で必要な知識

安全に介護を行うための対策・対応について学びます。

NO	テーマ	講師	定員・月日
D1	感染予防と対策 感染対策の基本となる「標準予防策」はご存じですか?標準的に実施すべき予防策を知ることは重要です。対策の具体として、個人防護服の着脱や環境の維持管理(清掃・消毒)吐しゃ物の処理方法などの具体的な対策などを学びます。	医療法人社団スズキ病院 スズキ記念病院 看護部長 佐々木 浩美 氏	定員:50名 令和5年 6月6日(火) 13時~16時
D2	虐待防止・権利擁護 高齢者・障害者に対する虐待防止のための取り組みや虐待行為の種類、具体的な行為などを学びます。また身体拘束への理解を深めます。	認知症介護研究・研修 仙台センター 研究部長 吉川 悠貴 氏	定員:50名 令和5年 9月14日(木) 13時~16時
D3	支援現場での危険予知 介護の現場での事故はどんな場所や場面で起きているのでしょうか。事故が生じた原因だけでなく、その背景を知ることも重要です。また、情報共有、環境の整備、評価や報告、体制整備など危険を回避するためのポイントなどを学びます。	東北福祉大学総合福祉学部 教授 菅原 好秀 氏	定員:50名 令和5年 8月25日(金) 9時30分~12時30分
D4	支援記録の目的とポイント 介護現場の支援記録は単なる記録だけではなく、適切に作成することでスタッフ同士の情報共有や、日々の変化に気づききっかけになり、支援方法を分析する材料となるなど、様々な目的があります。記録目的を知り、表現も含めてどのようなことを記載するのかを学びます。	特別養護老人ホーム やもと赤井の里 施設長 土井 孝博 氏	定員:50名 令和5年 7月25日(火) 13時~16時